

5月のさろんテーマ・信州・飯山シリーズ①

日本のふるさと 飯山にどうぞ

堀内隆夫（飯山市総務部長）



長野県の最北、飯山市は、唱歌「ふるさと」
「朧月夜」が生まれ、豊かな自然と風土、独特の
文化・歴史・伝統、そして人情のあるまちです。
昨年3月、北陸新幹線が開通し、アクセスがぐっ
と便利に。この秋のスローライフ・フォーラムの
舞台は飯山市に。飯山の全体像を伺いました。
(2016年5月17日開催)

■ 自然は豊かだが、人口減少は続いている

飯山市は新潟県に接した南北に長いまちで、面
積は約 202 km²。中央を日本一長い千曲川が流れ、
山に囲まれた盆地です。冬は山間地集落で 3m 以
上の積雪がある豪雪地帯。雪のおおかげで水が美
味しく、よいお米、アスパラなどみずみずしい野
菜が採れます。山菜も豊かです。

昭和 30 年には人口が 4 万人でしたが、今年 4
月はわずか 21,169 人。市になって以降ずっと人
口が減少しています。就職のために若者が流出し、
それが出生減につながり、少子化に拍車がかかり、
地域コミュニティの維持が困難になり、高齢者の
流出に、という悪循環に陥っています。

■ 農業を基盤としつつ、観光が重要産業に

戦後は農業中心で、他に飯山仏壇の製造や内山
和紙の生産を行い、冬は出稼ぎの暮らし。出稼ぎ
をなくすため、きのこ栽培や住民出資のスキー場
開発、民宿に挑戦し、昭和 50 年代には斑尾高原
のスキー場、別荘地リゾート開発に成功した。ス
キーブームで都会からの脱サラ組のペンション
営業が盛んになった。しかしバブル崩壊で、その
後低迷しています。

観光は重要な産業です。野沢・湯田中・渋温泉、
志賀・妙高高原、野尻湖にも近く、近隣の山ノ内
町のスノーモンキーは世界的にブレイクしまし
た。伝統産業と寺町、スキー、そして高橋まゆみ
人形館も入館者数 50 万人で、有名です。

平成 25 年から、北陸新幹線飯山駅開通に向け
て、飯山駅を中心に半径 20Km 圏域の飯山市・
妙高市・中野市・山ノ内町・信濃町・飯綱町・木
島平村・野沢温泉村・栄村の 9 市町村が手を携え、
ブランド観光圏の創出を行うことになり、共同で
観光キャンペーンをやっています。

■ 人口減少の悪循環を食い止めるために

基本的課題は人口減少をどうするかです。その
ために保育料軽減などの子育て支援や空き家バ
ンクなどの住宅対策を行い、移住・定住促進に取
り組み、人口減少に歯止めをかけたい。具体的
には、短期滞在向けには「飯山まなび塾」「百姓塾」、
長期滞在向けには「素泊まり滞在プラン」「お試
し体験ハウス」などのメニューを用意し、移住・
定住希望者には「古民家風住宅モデルプランの提
案」「住宅費建設補助」などの支援をしています。

産業振興策としては、農業と観光の連携、起業
支援、スポーツツーリズム、グリーンツーリズム、
インバウンドの受け入れをはかり、雇用の場の確
保につなげようとしています。

とくに飯山仏壇や内山和紙の伝統産業を守り、
農産物のブランド化支援で販路を開拓するなど
農産物全国アピールを展開しながら、民宿の魅力
を発信して、自然体験や農業体験を旅行商品化し、
交流人口を増やしたいと考えています。

■ 11 月には飯山のフォーラムにどうぞ

課題は数えきれないほど多いが、①地域経済活
性化、②若者定住・移住促進、③子育て支援・次
世代育成、④いつまでも安心して暮らせる地域づ
くり、を柱に総合先戦略を立て、住んでよし、訪
れてよしのまちづくりをめざして、創意と工夫と
熱意で地域づくりに取り組みたい。

11 月に開かれる「スローライフ・フォーラム
in 飯山」へのご参加をお待ちしています。

【意見交換】

Q 新幹線飯山駅ができて変わったか。

A 当初乗降客が少なかったが、冬のスキー客が
多く安心した。長野駅から志賀高原に行くよりも
飯山からのバス時間が短く、乗降客は増えている。

Q 人口減少の原因を、よりリアルに詰めない
と、施策が絵花的になるのではないかと。

A ともすれば市民は、行政がやってくれな
かったから、今の現状があるという考え方を
する。「スローライフ・フォーラム in 飯山」
では市民と役所と外部の人たちが、リアルな
議論を交わし、そこから、市民がこうする
から、役所も手伝えという市民側の熱気が
生まれることを期待している。